

活動事例

音が出る物に関わる楽しさを味わう

環境をデザインする

活動スケジュール：令和6年10月から令和6年12月
テーマ設定理由：様々な音やリズムに触れる機会を通して、音やリズムに対する子供たちの興味関心をさらに深めるため。



マラカス（バナナ・イチゴ）



タブレットとスマートスピーカー

音の出る物（マラカス）に関わり遊ぶ環境を準備した。

- 10月 幼児が拾ってきたドングリなどの自然物を容器に入れたマラカスで遊んだ。
- 12月 バナナとイチゴの形のマラカスと親しんでいる曲を流せる準備をした。

探究活動を実践する



親しんでいる曲を流すと、マラカスを鳴らし楽しむ。「音が違うんだよ！」とバナナとイチゴで音が違うことを教師に話し、友達と音を鳴らし合う。



バナナは縦に大きく振り、イチゴは小刻みに振るなど、鳴らし方を変えて楽しんだ。曲に合わせてマラカスを止める、鳴らす速さを変えるなども楽しむ。

振り返りを踏まえた気付き

ドングリマラカスで遊んだ経験や使ってみたくなる環境設定、親しんでいる曲を流したことから、フルーツマラカスに興味をもった。音の違いを発見したことを教師が受け止め共有してくれたことで、さらなる試しや楽しさにつながった。